

事業報告書

1 支援団体名	次世代のためにがんばろ会								
2 事業名称	青少年水サミットに向けた「青少年八代チーム」活動								
3 実施日時	令和3年4月～令和4年3月6日								
4 実施場所	熊本県八代市内一円								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)・専門家による出前授業や WS,オンライン会議など28回。また、「アジア太平洋水サミットに向けた高校生動画応募」の作成に半年以上、取材や編集に時間をかけて作り上げた。・青少年八代チーム 会員50人 ・八代海河川・浜辺の大そうじ大会 参加者720人・青少年水サミット2021in 八代参加者100人・成果発表会40人以上、体験型学習会参加者 総合計 1,962 人</p> <p>・市内の高校で専門家指導(干潟・生きもの・野鳥・植物・水質・マイクロプラスチックごみ問題・水の歴史・水防災など)の座学と体験授業(低生生物観察会・野鳥観察会・植物観察会・身近な河川の水質調査・干潟の歴史歩きなど)を実施。・「青少年八代チーム」を7月10日に発足させ、その企画後に、友達同士で参加申し込みが多く、最終的に50人の登録数となった。・「青少年八代チーム」の企画・運営(zoom+会場)は定期的に行い、オンラインで、日本を始め海外のユースとの情報交換をおこなった。・1年間の「青少年水サミット in 八代」を青少年が自ら企画準備し、開催できた。・アジア太平洋水サミット高校生動画応募に意欲的に動画を2作品完成させ、成果発表会で披露した。</p> <p>(事業実施効果)この企画を地元高校でも本授業の中で実施できるようにと、八代高校では恒例の出前授業が5コマ、3部門を依頼されるようになった。・2022年4月23日24日開催のアジア水サミットでは、国土交通省八代河川国道事務所のテントブースで「エコユース八代」の発表の場で発言ができるようになり、その資料(パネルやパンフレット)作りにオンライン会議などで活躍中。・成果発表会で「八代を誇りに思い、大好きになった」との言葉が意識を変えたことになる。</p>								
6 参加内訳	<table border="1"> <tr> <td>総人数</td> <td>約 1,962 名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td>約 100 名 (26 回)</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加 ((1) を除く)</td> <td>1,852 名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加 ((1) を除く)</td> <td>2 名 (5 回)</td> </tr> </table>	総人数	約 1,962 名	(1) 主催者参加	約 100 名 (26 回)	(2) 日本人参加 ((1) を除く)	1,852 名	(3) 外国人参加 ((1) を除く)	2 名 (5 回)
総人数	約 1,962 名								
(1) 主催者参加	約 100 名 (26 回)								
(2) 日本人参加 ((1) を除く)	1,852 名								
(3) 外国人参加 ((1) を除く)	2 名 (5 回)								
7 今後の方針	<p>・2022年開催予定の「アジア太平洋水サミット」の国際会議の場での発表の機会(経験を積む)を活かし、毎年地域での「青少年水サミットin八代」の企画・運営ができるようになることで、自発的な部活を定期的に行えるようになるだろう。</p> <p>また、青少年が地域の体験学習会に参加することで地域の様々な自然環境の事実や保全する事の重要性を考えることのできる人材育成を進めていく。</p>								

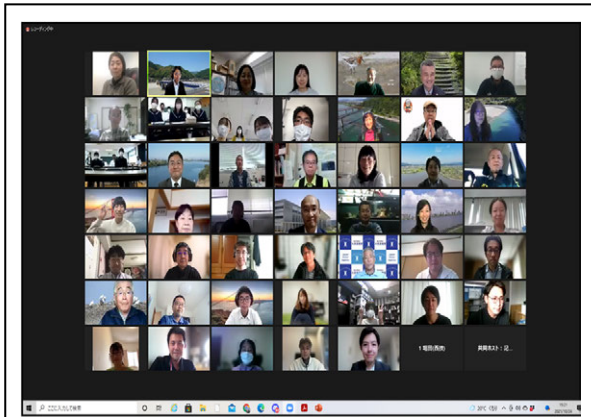
市内の高校生約720人参加で河川大そうじ大会



会場やオンラインでのWS/学習会を28回開催



青少年水サミット in 八代2021開催



「水の歴史散策学習会」球磨川の歴史を現地で



地元の方々と「歩いて学ぶ防災マップ学習会」



「野鳥観察会と水と生きもの学習会」



年間12の企画やオンライン会議などで学んだことの成果発表会「We Love YATSUSHIRO」!

